

令和2年産 コメ通信

第10号（令和2年9月16日）

【発行】

北秋田地域振興局農林部農業振興普及課
（電話0186-62-1835）

籾の黄化程度のほ場間差に注意し刈り取りを！

1 気象経過と生育状況

【気象経過】

- 気温の推移は、8月上旬は平年並みとなりましたが、その後、8月中旬から9月上旬にかけて平年より高くなりました。また8月下旬から9月上旬にかけては寒暖差が大きい期間となりました。
- 降水量は、8月上旬にはまとまった降雨となった日があり、平年より多くなりました。その後、8月下旬は好天によりかなり少なくなったものの、9月上旬には再び多くなっています。
- 日照時間は、8月上～中旬は少なく推移し、その後は、多くなりました。
- 9月10日発表の1か月予報（仙台管区气象台発表）では、向こう1か月の気温は高くなり、特に9月19～25日にかけてかなり高くなると予想されています。

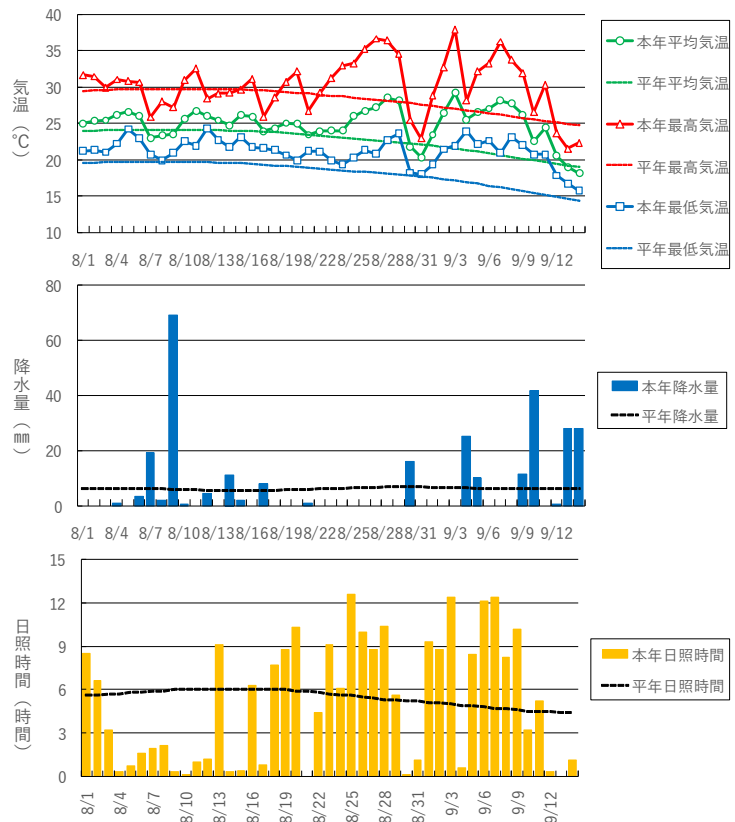


図1 気象経過図（アメダス鷹巣）

【生育状況】

- 成熟期（9月14日）の管内水稻定点調査ほ（9地点、品種あきたこまち）の調査の結果、稈長、穂長、穂数、有効茎歩合のいずれも平年並みとなりました。
- 9月上旬以降管内では倒伏ほ場が発生しています。定点調査の結果、倒伏程度は0.7（平年0.5）となっています。

表1 定点調査結果（成熟期：9月14日）

	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	有効茎 歩合(%)
本年	83.3	17.4	472	78.5
平年	82.3	17.4	464	77.1
前年	81.6	17.5	471	82.0
平年比較	101%	100%	102%	+1.4
前年比較	102%	99%	100%	-3.5

※平年は過去10か年の平均値

2 刈り取り適期の判定

○ 本年は8月上旬とそれ以降の気温、日照時間の差が著しく、8月中旬以降高温多照になりました。出穂時期により黄化程度が大きく異なる可能性があります。下記の刈取適期の判定目安を参考にして、最終的な刈取時期の決定は、各ほ場の籾の黄化程度を必ず確認し、黄化程度が90%に達した時期で判断してください。

また、平年より籾数が多い傾向のためデンプンの転流が不十分になり、白未熟粒が発生しやすくなっています。十分な登熟期間を設けて品質向上に努めてください。
 <刈取適期の判定目安>

①籾の熟色	刈 取 時 期 を 決 定
葉や枝梗が緑色であっても籾の黄化程度が90%の頃	
③出穂後の日数	
早生種（あきたこまち等）で出穂後45日前後 中晩生種（めんこいな、ゆめおぼこ等）で出穂後50日頃	
④出穂後の積算気温（出穂期翌日から日平均気温を積算した値）	刈 取 時 期 を 決 定
早生種 あきたこまち等…………… 950～1,050℃	
中晩生種 めんこいな……………1,050℃頃 ひとめぼれ、ゆめおぼこ……………1,050～1,150℃	

表2 積算気温到達日予想

出穂期	積算気温到達月日		
	950℃	1,050℃	1,150℃
8月1日	9月8日	9月12日	9月17日
8月5日	9月12日	9月18日	9月23日
8月10日	9月19日	9月25日	10月1日

※アメダス鷹巣データ（9月15日以降は平年値を使用）

<秋の農作業安全運動 9月10日～10月20日>

- 点検・調整時は必ずエンジンを停止してください。
- コンバインによる収穫作業は計画的に行い、長時間や夜間の作業を避けてください。
- 道路走行時は反射材を活用し、安全を確保してください。
- 作業前後は機械や安全装備の点検を励行してください。
- 軽トラック運転時のシートベルト着用、一時停止の遵守を徹底してください。
- トラクターに安全キャブ・安全フレームを装備し、シートベルトの着用を徹底してください。

！！ 稲わら焼き禁止期間 10月1日～11月10日 !!

問い合わせはJA、または農業振興普及課まで
 HPは「美の国あきたネット 北秋田 コメ通信」で
 ～次回発行は12月中旬予定～